

(様式1)



報道資料

令和8年4月23日

1 件名	アートでつなぐまちの活性化事業 関連イベントのお知らせ
2 日 ち	令和8年7月11日(土)~9月13日(日)
3 場 所	山口井筒屋(山口市中市町 3-3)2階
4 内 容	<p>添付資料につきましては、第3期山口市中心市街地活性化基本計画に基づき実施する「アートでつなぐまちの活性化事業」の一環として実施するイベントです。</p> <p>本事業は、アートが持つ人と人をつなぐツールとしての機能を中心に据え、YCAM で制作された作品の展示や文化的活動の場として中心商店街の空き店舗等を活用することで来街機会の創出を図る事業です。</p> <p>添付資料</p> <p>1 コロガルあそびのひゃっかてん 2026 プレスリリース</p> <p>★ 本市では「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」を策定し、『まちを、楽しむ。』を全体のテーマに「居心地が良く歩きたくなるまち」「多様な人々の心が弾むまち」の2つの基本方針のもと中心市街地の活性化に向けた取組を進めています。</p>
5 問い合わせ	山口市商工振興部中心市街地活性化推進室 TEL 083-934-2923 山口情報芸術センター (YCAM) TEL 083-901-2222

山口情報芸術センター [YCAM]

コロガルあそびのひゃっかてん 2026

2026年7月11日(土)～9月13日(日)

山口井筒屋(山口県山口市中市町3-3)2階

「コロガル公園シリーズ」が今年も山口市中心商店街に帰ってくる！ 子どもたちが自ら考え学ぶ「遊び場」が百貨店にオープン

山口情報芸術センター [YCAM] では、山口市中心市街地活性化推進室と継続的に協働して進めている「アートでつなぐまちの活性化事業」の一環として「コロガル公園シリーズ」の最新版「コロガルあそびのひゃっかてん 2026」を開催します。

「コロガル公園シリーズ」は子どもたちが遊びを通じて自ら考え、創造するための環境としてデザインされた遊び場です。2012年にYCAMで発表して以来、好評を博しており、国内の芸術祭や商業施設などで派生バージョンを発表してきました。

今回、山口市の商店街にある百貨店で5回目の開催となる「コロガルあそびのひゃっかてん」。小学2年生以下の子どもを対象としており、不定形な床面など、子どもたちが遊びを生み出すきっかけとなるようなしくみが空間内に多数散りばめられているほか、商業施設という立地を活かして、他者や社会とつながるコミュニケーションの場としても設計されています。

遊びながら考え、考えながら遊ぶというプロセスを繰り返すことで、思考の柔軟性と創造力が刺激される子どもたちの場が山口に生まれます。



「コロガルあそびのひゃっかてん」
撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学びと共創課 広報担当

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7

TEL：083-901-2222 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



現代に生きる子どもたちのための遊び場環境 — コロガル公園シリーズ



「コロガルガーデン」(2016年/撮影:山中慎太郎 [Qsyum!])

YCAMは開館以来、オリジナルワークショップなどの教育プログラムを開発しており、それらを通じてコンピューターやネットワークをはじめとするメディアテクノロジーとの適切な向き合い方や、それを応用することで生まれる新たな表現の可能性に触れる機会を提供してきました。

「コロガル公園シリーズ」は、短時間で終わってしまうワークショップとは別に、長期間に渡って維持される公園のような場を通じて新しい学びの可能性を探るプロジェクトです。2012年の「コロガル公園」を皮切りに、これまでに「コロガルパビリオン」(2013年)や「コロガルガーデン」(2016年)を発表しているほか、山口を飛び出し東京と札幌でも実施しています。

本シリーズはいずれも、改変可能なメディアテクノロジーが埋め込まれた環境を、試行錯誤を繰り返しながら思考できる場として提案しており、利用者の子どもたちが遊びを通じて自律的な学びを獲得できるように設計がなされています。こうした学びのプロセスは、変化の激しい現代社会におけるコミュニティの創造/運営のトレーニングとしての側面もあり、そのためここでは利用者が自ら公園の保守管理に携わるなど、遊びだけに留まらない営みが多数生まれています。

こうした「模擬的な社会」とも言えるコンセプトと、その支持体としての構造物のデザインが高い評価を受け、コロガル公園シリーズはこれまでにグッドデザイン賞やキッズデザイン賞を受賞しました。

これまでのコロガル公園シリーズ

コロガル公園

展覧会「glitchGROUND—メディアアートセンターから提案する学び場環境」の展示物として発表。
会期: 2012年5月19日~8月12日
会場: スタジオB 入場者数: 37,170人
設計: assistant

コロガルパビリオン

YCAMを飛び出し、屋外で展開。会期末には存続運動が勃発し、2014年に再開した。
会期: 2013年7月26日~12月1日/2014年8月1日~31日
会場: 山口市中央公園 入場者数: 47,077人
設計: assistant

コロガル公園 in ネイチャー

札幌国際芸術祭の一環で、初の山口県外での開催。
会期: 2014年7月19日~9月28日
会場: 札幌市資料館裏庭 入場者数: 80,955人
設計: 五十嵐淳建築設計

コロガルガーデン for LIL KIDS

東京での初の開催は、初の未就学児童対応。
会期: 2015年4月29日~5月3日
会場: 伊勢丹新宿本店本館6階催物場
入場者数: 356人
設計: assistant

コロガルガーデン

2年ぶりのYCAMでの開催は、ホワイエとスタジオBでの同時開催。
会期: 2016年6月18日~9月4日
会場: ホワイエ、スタジオB
入場者数: 53,142人
設計: assistant

コロガル公園 commons

2012年の最初の「コロガル公園」を一部アップデートして再現。
会期: 2018年7月21日~10月28日
会場: スタジオB
入場者数: 50,127人
設計: assistant + 慶應義塾大学鳴川肇研究室

コミュニケーションツールとしての公園を通じて、まちを活性化する



昨年の「夜のコロガルあそびのひゃっかてん in 山口セタちようちんまつり」の様子
撮影：塩見浩介

「コロガルあそびのひゃっかてん」は、2022年に山口市中心市街地の中核にある商業施設、山口井筒屋の一角に登場した「コロガル公園シリーズ」の最新版です。山口市中心市街地活性化推進室とYCAMが協働して進める「**アートでつなぐまちの活性化事業**」の一環として実施します。

会場空間内には、静岡県浜松市を拠点に活動する建築デザイン事務所 **+tic** (プラスチック) が設計した不定形な床面やオブジェクトを設置。利用者の子もたちが遊びを通じて自律的な学びを獲得できるように設計がされており、親子で楽しむこともできるように配慮されています。会場では、センサーや照明、スピーカーなどのメディアテクノロジーが随所に施され、環境が様々な変化します。これらのメディアテクノロジーは子どもたちの五感を刺激し、新しい遊びを発想するための「種」として機能します。

また、文部科学省採択事業「地域活性化人材育成事業～SPARC～」の実践プログラムの一環として、2024年度から山口県立大学と連携した取り組みを実施しています。学生が主体となって子どもの遊びや空間づくりの企画・制作に取り組み、アイデアの一部を会場のメディア装置として取り入れることで、地域と接続した実践的な学びと、遊び場の継続的な発展を目指します。今後も多様なパートナーと連携をしながら、さまざまなフォーマットで「コロガル公園シリーズ」を展開していく予定です。

■ アートでつなぐまちの活性化事業

山口市では「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」を策定し、『まちを、楽しむ。』を全体のテーマに「居心地が良く歩きたくなるまち」「多様な人々の心が弾むまち」を目指し中心市街地の活性化に向けた取組を進めている。

本事業は、「交流と創造による来街機会の創出」を目的とし、YCAMが持つ知見を活用して子どもを核とした来街のきっかけづくりを行い、まちのにぎわい創出等を図ることで、子どもから大人まで楽しめる中心市街地となることを狙いとしている。

■ +tic (プラスチック)

鈴木知悠と鈴木陽一郎の2人によって2013年に設立。建築設計を中心に、ものづくり、まちづくりとプロジェクトベースに活動を行う。現在は浜松市中心市街地にて、5つの場所を実験的に管理運営している。主なプロジェクトに、自走式立体駐車場を商業スペースとして再構成するための移動建築《cube》街中の空室をテンポラリーなシェア工房とする《みんなの工房》等。

開催概要

コロガルあそびのひやかてん 2026

2026年7月11日(土)～9月13日(日) 10:00～17:00

休場日：火曜日・水曜日(火曜・水曜が祝日の場合は開場)

山口井筒屋(山口市中市町3-3)2階

入場無料

対象年齢：小学2年生以下(未就学児の入場は保護者の同伴が必要です)

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

協力：株式会社荒谷建設コンサルタント、株式会社山口井筒屋、山口県立大学

企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]

第3期 山口市中心市街地活性化基本計画 アートでつなぐまちの活性化事業

関連イベント

オープニングイベント

2026年7月11日(土)9:30～10:00

山口井筒屋(山口市中市町3-3)2階

参加無料

夜のコロガルあそびのひやかてん in 山口セタちょうちんまつり

2026年8月6日(木)、7日(金)18:00～21:00

山口井筒屋(山口市中市町3-3)2階

参加無料

「山口セタちょうちんまつり」に合わせて「コロガルあそびのひやかてん 2026」を夜間に開放するイベントです。

同時期開催イベント

大友良英+YCAM 新作展「即興！」

◎先行展示 大友良英+青山泰知+伊藤隆之 without records

2026年7月24日(金)～ 10:00～19:00

山口情報芸術センター[YCAM] ホワイエ

入場無料

Yamaguchi Seasonal 2026 / 坂本龍一+YCAM**Forest Symphony**

2026年7月24日(金)～12月6日(日) 10:00～16:30

常栄寺(山口市宮野下2001-1)

入場無料 ※ただし、常栄寺雪舟庭拝観料は別途必要

休場日：火曜日(祝日の場合は翌日) ※これ以外に臨時の休場日がございます。

詳細はウェブサイトでご確認ください